様式３－１　　【新規】

# 教育課程研究指定校事業実施計画書（平成２８年度）
## ― 研究課題１　高等学校―

| 都道府県・指定都市番号 | ４３ | 都道府県・指定都市名 | 熊本県 |
|---|---|---|---|

公立・私立・国立　（○で囲む）

１　研究指定校の概要

| ふりがな<br>学校名 | くまもとけんりつやつしろのうぎょうこうとうがっこう<br>熊本県立八代農業高等学校 | 校長氏名（ふりがな） | ちょう　かおる<br>丁　薫 |
|---|---|---|---|
| 所在地 | 〒869－4201　熊本県八代市鏡町鏡村１２９<br>電話　０９６５－５２－００７６　FAX　０９６５－５２－５０４８<br>E-mail　yatsushiro-ah@pref.kumamoto.lg.jp | | |
| 設置する課程（H28.4.1 見込） | 全日制 | （H28.4.1 見込。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む）<br>教員数　４６名<br><br>［調査研究にかかわる教科等の教員数］<br>１６名 | |

生徒数（H28.4.1 見込）

| 学科名 | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 園芸科学科 | 17 | 10 | 15 | | 42 |
| 食品科学科 | 35 | 34 | 26 | | 95 |
| 農業工学科 | 17 | 7 | 22 | | 46 |
| 福祉家庭科 | 24 | 26 | 21 | | 71 |

| 特記事項 | |
|---|---|

２　研究主題等

| 教科等名 | 農　業 | 教科課題番号等 | 1 |
|---|---|---|---|
| 学校における研究主題 | 将来の地域を支えるスペシャリストを育成するための系統的な農業学習の展開に関する研究～わかる・できる・魅力ある農業教育の実践～ | | |
| 研究主題設定の理由 | 農業科の各科目は、農業を初めて学ぶ１年次の導入から、３年次で各学科が目標とする専門領域の知識と技術の習得まで、系統的な展開が必要である。生徒には、これらの学習を通じて、農業の基礎的な知識・技術の習得やそれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力等の定着を図り、将来の地域を支えるスペシャリストの育成に取り組んでいく必要がある。そこで、系統的な農業学習の展開と座学と実験・実習のバランスを考えた学習の展開とその指導方法及び評価方法等について研究を行う。 | | |
| 研究の内容 | (1) １年次から３年次にかけた系統的な農業学習の展開<br>(2) 農業に関する基礎的・基本的な知識と技術の定着に向けた１年次の農業科の各科目を連動させた学習の展開<br>(3) 座学と実験・実習を結びつけた効果的な学習指導の展開と評価方法の検証と改善<br>(4) 言語活動を含めた能動的な学習指導の展開と評価方法の検証と改善<br>○生徒が主体的に学び合う指導方法の工夫<br>○「授業目標の提示、達成状況の確認」「将来目標の明確化」を意識した授業の実践と活用しやすい学習記録簿（ワークシート）の作成<br>(5) スペシャリスト育成に向けた地域教育力を生かした実践的学習の展開<br>○地域性を生かしたプロジェクト学習の実践 | | |

3　研究体制等

○教頭・教務主任・農場長・学科主任（４名）及び授業担当者で教育課程研究指定校事業推進委員会を構成し、研究の方向性や教育効果を検証するために、会議を月２回開く。
○教育課程研究指定校事業推進委員会で検証した内容は、随時職員全体に示し、学校全体で組織的に取り組む。
○教育課程研究指定校事業推進委員会において、熊本県立大学総合管理学部准教授・小薗和剛様を外部有識者とし、研究内容についてのご意見を年２回程度取り入れる機会を設定する。

4　研究計画

| | 実施時期 | 研究内容，研究方法，成果の公開等 | 期待される成果等 |
|---|---|---|---|
| 一年次 | **１学期** | ①現状の把握と目標設定<br>・把握した状況を踏まえた授業の工夫・改善<br>②指導方法と評価規準・評価方法の検討と改善<br>・基礎学力が身に付いていない生徒及び学習意欲が低い生徒への指導法の検討<br>・座学と実験・実習が結びついた効果的な学習指導の検討<br>・生徒及び職員アンケート結果の検証<br>③活用しやすい学習記録簿（ワークシート）の作成<br>④教育課程研究指定校事業推進委員会の実施による課題の把握と共有 | ○学習上の課題の明確化<br>○課題に対する具体的方策の実施とその内容の共有<br>○授業改善後の成果と新たな課題の明確化<br>○新たな課題の共有と他教科との連携<br>○指導と評価の一体化と授業改善 |
| | **２学期** | ①評価規準に準じた記録簿等の評価および指導方法の検証<br>②指導方法と評価規準・評価方法の検討と改善<br>・生徒及び職員アンケート結果の検証<br>・「評価」の生徒へのフィードバック<br>・「評価」をもとにした指導内容の見直し<br>③公開授業や研究授業の実施<br>・評価の検証<br>④教育課程研究指定校事業推進委員会の開催による課題の把握と共有<br>⑤先進校への視察と校内報告会 | ○指導内容の焦点化による授業力の向上<br>○記録をまとめる力や情報収集能力の向上<br>○学習意欲の喚起と主体的に学習する態度の育成<br>○グループ学習によるコミュニケーション能力の向上 |
| | **３学期** | ①指導方法と評価基準評価方法のまとめ<br>②研究内容の検証<br>・校内研修会における研究成果の発表及び研究協議<br>③次年度へ向けた検証と改善<br>・学習指導計画及びシラバス等の作成 | ○課題に対する具体的方策の実施と共有<br>○研究成果と課題の明確化<br>○次年度に向けた課題の共有と他教科との連携<br>○取り組みの工夫・他者の意見や研究内容を考慮し、効果的なプレゼンテーション作成技術の向上<br>○基礎的な知識・技術の習得<br>○課題を解決するための思考力・判断力・表現力等の定着 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 二年次 | **１学期** | ①１年目の成果・課題の整理及び年間計画の作成<br>②新１年生・２年生への意識調査<br>③１年次から２年次の科目に連携した授業展開の検証と改善<br>④授業・実習における記録簿の検証と改善<br>⑤教育課程研究指定校事業推進委員会の開催による課題の把握と共有<br>⑥指導方法・評価規準の検討と改善 | ○現状の把握と目標設定<br>○全校生徒・全職員への周知と意識づけ<br>○１年次の専門科目との関連づけと、興味・関心の養成<br>○生徒自らが力をつける学習場面の設定 |
| | **２学期** | ①教育課程研究指定校事業推進委員会の開催による課題の把握と共有<br>②指導方法・評価規準の検討と改善<br>③研究事業まとめに向けた検証と今後の活動の確認<br>④成果報告及び情報発信<br>・地域及び関係機関に向けた成果発表会（公開、発信） | ○現状の把握と軌道修正<br>○専門科目の系統的な展開<br>○座学と実験・実習が結びついた効果的な学習指導の展開<br>○言語活動を含めた能動的な学習指導の展開<br>○学習記録簿（ワークシート）の完成<br>○適切な評価と系統的な指導の一体化<br>○事業成果の普及 |
| | **３学期** | ①研究のまとめと記録簿の整理<br>②２年間を通した研究事業の検証<br>③報告集の編集及び発行<br>④文部科学省への報告<br>⑤関係機関への啓発活動及び学校ホームページを活用した情報発信 | ○事業記録の整理・保存と活用<br>○事業のまとめによる指導方法の検証<br>○モデルの共有による多校種での実践 |

５　研究のまとめの見通し

(1)本校の生産系、食品系、環境系の各学科において、１年次の農業科の各科目の学習を基礎とし、２年次の定着、３年次の応用を見据えた系統的な農業学習の展開を示す。
(2)各科目における身に付けさせたい基礎的・基本的な知識と技術の明確化。
(3)座学と実験実習を連動させた農業科の各科目の授業展開。
(4)生徒の学習達成度を確認する科目別の自己評価シートを作成し、評価方法を検証する。
(5)関係機関との連携をはじめ、人材活用など地域の教育力を生かし、科目の内容を発展させた実践的な学習を取り入れる。
(6)生徒の関心・意欲の変化、進路意識について定期的に調査を行い、指導方法の改善につなげる。
(7)プロジェクト学習の発表会を開催し、関係機関へ情報発信する。